

会議名称	平成 25 年度 第 2 回 倉吉市国民健康保険運営協議会	
開催日時	平成 26 年 2 月 17 日 (月) 午後 1 時 30 分～2 時 30 分	
開催場所	倉吉市役所 第 1 会議室	
内 容	<p>1 協議事項</p> <p>(1) 倉吉市国民健康保険条例の一部改正について</p> <p>(2) 倉吉市国民健康保険第Ⅱ期特定健康診査等実施計画の変更について</p> <p>(3) 平成 25 年度国保事業決算見込みについて</p> <p>(4) 平成 26 年度国保事業について</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 平成 24 年度医療費の現状分析 (概要) について</p> <p>(2) 平成 25 年度国民健康保険料 (税) 決定状況</p> <p>(3) ジェネリック医薬品差額通知実績</p> <p>(4) 平成 25 年度特定健診の受診状況</p> <p>(5) 国民健康保険証の記号の一律化について</p> <p>(6) 70 歳代前半の被保険者等に係る一部負担金等の軽減特例措置の見直しについて</p> <p>(7) 社会保障制度改革プログラム法 (概要) について</p>	
出席者	<p>○出席委員 10 名 (欠席委員 6 名) …過半数の出席により、会議は成立。</p> <p>〈出席委員〉</p> <p>廣戸委員、松田委員、野田委員、桑名委員、原委員、栗原委員、伊田委員、松井委員、岡野委員、吉長委員</p> <p>〈欠席委員〉</p> <p>長尾委員、北村委員、小林委員、宍戸委員、安梅委員、美船委員</p>	
	所管部課名	医療保険課
公開非公開の別	公 開	
<p>【会議の概要】</p> <p>1 開 会</p> <p>○ 委員の交替について</p> <p>民生児童委員連合協議会の役員改選に伴い、田中俊幸氏が退任され、新たに伊田充雄氏を新たに委嘱。また、全国健康保険協会鳥取支部の人事異動により藤原和夫氏が退任され、吉長 誠氏新たに委嘱した。</p> <p>2 市長あいさつ [石田市長]</p> <p>本市の国民健康保険は、おおむね順調に運営できているが、この制度そのものが、少子高齢化に伴い曲がり角に来ている。</p> <p>国の社会保障制度全体の枠組みを見直すということで、国保についても、市町村から県での運営という形も模索をされている。消費税を一つの原資としながら、社会保障制度をしっ</p>		

かり運営しなければならない。国保料も今後改定があり、運営協議会の見識を頂きながら、適正な国保運営に努めたい。

今日は、政令改正等を踏まえた条例改正、25年度の運営状況、そして26年度の事業計画等について色々ご意見を頂きたいので、よろしくお願ひします。

～ 市長退席 ～

3 会長代理選出

委員の交替により会長代理が不在となり、国民健康保険施行令に基づき、公益を代表する委員の中から会長代理を全委員で選出する。 ～事務局一任～

[事務局] 会長代理には、伊田充雄委員にお願いします。

委員全員から承認を得る。

4 会長あいさつ [岡野会長]

委員の皆さま方には、国保運営協議会の委員として大変ご尽力を頂きありがとうございます。先ほど市長から、業務も順調であるという報告があり、安心している。今日はよろしくお願ひしたい。

5 議事録署名委員の決定

[会長が指名] 栗原 隆政委員、松井美智子委員

6 協議事項

- (1) 倉吉市国民健康保険条例の一部改正について
- (2) 倉吉市国民健康保険第Ⅱ期特定健康診査等実施計画の変更について
- (3) 平成25年度国保事業決算見込みについて
- (4) 平成26年度国保事業について

[事務局] 会議資料に基づき、(1)～(4)一括して説明

【質疑】

[委員] 平成26年度予算の新規事業「結核・精神疾患データ分析」の内容は。

[事務局] 国の交付金（国保財政調整交付金）のための資料として、結核と精神疾患の医療費の割合を調べるもの。専門的な知識を要することもあり、委託の予算を計上した。

[委員] 保険給付費が25、26年度ではかなり減額となり、1人当たりの医療費は増加傾向にあるが、被保険者数の減少により減額ということだが、別冊事業計画には、「保険給付費は年々増大している」とあり、どう理解すればいいのか。

[事務局] 予算については、不足してはいけないということで、ある程度の伸びを見込むが、近年は感染症等の大きな流行もなく、決算では減額となっている。被保険者数が減少している割には保険給付費が減っていない。

[委員] 4月の診療報酬・調剤報酬改定に伴い、薬局では残薬の確認が義務化される。重複・頻回受診者への保健師訪問指導の際も、残薬のチェックをして欲しい。

残薬があれば処方量を減らすなどできる。残薬をずっと持っていてまた同じ薬を処方されることもあり、必ず残薬をチェックして欲しい。

〔委員〕残薬があれば次回受診のとき医療機関に持って行くか、どのくらい残っているかを伝えると良い。

〔委員〕重複・頻回受診者の指導内容は。

〔委員〕病気のとらえが先生とご自分で違ってないかとか、同じ内容の薬を複数処方されていないかなどについて受診の内容等を確認し、先生によく相談していただくように話をさせていただく。

〔委員〕特定健診が節目で無料になるとのことだが、現在いくらなのか、また、未受診者の実態調査等とは、いつ頃どのような形で予定しているのか。

〔事務局〕特定健診自己負担金は、70歳未満1,000円、70歳以上500円。

未受診者対策は、今は、未受診者に秋ごろ受診勧奨通知を送付。今後は、特定健診受診データとレセプトデータを突合させ、未受診だけでなく、もう少しグループ分けをし、状況に応じた受診勧奨を考えている。

～協議事項を拍手で承認～

7 報告事項

- (1) 平成24年度医療費の現状分析（概要）について
- (2) 平成25年度国民健康保険料（税）決定状況
- (3) ジェネリック医薬品差額通知実績
- (4) 平成25年度特定健診の受診状況
- (5) 国民健康保険証の記号の一律化について
- (6) 70歳代前半の被保険者等に係る一部負担金等の軽減特例措置の見直しについて
- (7) 社会保障制度改革プログラム法（概要）について

〔事務局〕会議資料に基づき、(1)～(7)一括して説明

【質疑】

〔委員〕ジェネリックの普及率は上がっているが、薬剤費はあまり変わっていないのはなぜか。薬剤費が下がらないと意味がない。

〔事務局〕確認してみる。

〔委員〕今年度、特定健診受診者が大きく減っている原因は。アンケートなど取っているのか。場所の問題とか、女性が大勢の方がおられる中での受診に抵抗を感じるのか。

〔事務局〕少し古いですが、23年度にアンケートを取った結果、医療機関で治療をしているからとか、忙しくて行けないというのが健診を受診しない理由だった。

〔委員〕人件費とか結構かかる。いい方法があればいいが。対象は何人位なのか。

〔事務局〕 対象者は、9,512名。

〔事務局〕 元気だから受けないという方もおられる。

〔委員〕 受診しない人は主治医にかかっているということではないか。

〔事務局〕 主治医の方から特定健診の受診を勧めただけだとありがたい。また、アンケートを取るなどしてみたい。

〔委員〕 昔は、企業の人でも集団検診を受診してもいいという通知が来ていたように思うが、今はできないのか。

〔事務局〕 以前は、集団検診はすべての医療保険の方を対象にしていたが、特定健診が始まってからは、保険者が実施することになっている。健康保険の被扶養者は集団検診を受けていただけるが、健康保険のご本人さんは受診できなくなった。

〔委員〕 食育の推進とか食生活の改善などについてのプランがあると思うが、どこの部署でどういふことをされているのか教えてください。

〔事務局〕 保健センターの方でいきいき健康計画と食育推進計画の二つを合わせた計画が立ててあり、それに沿って、お子さんの食事や歯の衛生、そのほか健康づくりの運動や栄養のことなど、食生活改善推進員等の協力を得ながら実施していくというような計画を市全体として立てており、これに沿って医療保険課も一緒に活動をしている。食生活改善推進員の活動や養成に予算を取り、力を入れている。

〔委員〕 その活動内容の充実度合は、年々上がってきていると考えておられるのか。

〔委員〕 そのように考えている。全体で約250名程度健康づくり推進委員さんがおられて、各地区の文化祭や町内会での栄養改善の料理講習等を実施していただいている。

〔委員〕 湯中運動を実施しているが、限られた人数しかできない。市民の健康づくりという意味では、歩くことが一番のベースでお金もかからない。そういった部分でウォーキング指導者というか、歩くことについて健康づくり推進委員にも一生懸命になってもらえば、もう少し生活習慣病の予防につながってくると思う。

8 その他

〔事務局〕 現在の運営協議会委員の任期は今年の7月までとなっており、次期委員の方の推薦等について、ご協力をお願いしたい。

倉吉市では男女共同参画ということで、女性委員4割以上を目指している。団体推薦だと役職等の関係で難しい面もあると思うがご理解をいただきたい。

また、現在の国保料は、平成23年度に運営協議会で審議して24年度に引き上げ、26年度までの3年間は据え置く答申を頂いた。

平成27年度以降の国保料について見直しを行うので、来年度協議をお願いしたい。必ずしも引き上げるといふ前提ではない。

9 閉会